

越中一宮 高瀬神社

御社殿屋根

# 修復事業

ご奉賛のお願い



# 趣意書

大正十二年（一九二三年）、高瀬神社は氏子崇敬者各位の並々ならぬ熱誠をもって、国幣社に昇格しました。昇格後、国幣社に相応しい御社殿にすべく、関係者挙げて新社殿建設に取り組み、念願叶って昭和十七年（一九四二年）より国家主導による御造営工事が始まりました。基礎工事が終了した昭和二十年（一九四五年）八月に終戦となり、国費による工事が中止されました。往古の面影は消滅した状況でしたが、各方面より浄財や樹齢数百年の銘木が寄進され、昭和二十二年（一九四七年）に御本殿が、翌二十三年（一九四八年）に拝殿が完成し、現在に至っております。

この誠心こもる御社殿を今日に至るまで大切にしていまいりましたが、この度、昭和四十八年の葺き替え工事より五十年が経過し、酸

性雨による腐食や経年による傷みも進行し、葺き替え工事を実施しなければならぬ状態となっております。来る令和五年（二〇二三年）は、国幣社昇格より百年の節目の年にあたることもあり、記念事業として御社殿屋根の葺き替え工事を計画しております。高瀬の大神様の御神威をさらに宣揚し、誠心の籠った美しい御社殿を末永く護持してゆく為にも事情をご賢察くださいますよう謹んでお願い申し上げます。

令和四年四月吉日

越中一宮高瀬神社宮司 藤井 秀嗣

責任役員 西田 明男

責任役員 石岡 敬夫

責任役員 藤井 秀之

## 《事業概要》

一、御社殿屋根銅板葺き替え・

付属飾り金具改修工事

工期

令和四年夏より

令和五年秋竣功予定

一、本殿、幣殿、拝殿、回廊、

功霊殿、功霊殿拝殿屋根

葺き替え修理費

一一〇、〇〇〇、〇〇〇円

一、募金目標額

八〇、〇〇〇、〇〇〇円

一、募金実施期間

令和四年四月より

同五年十二月末まで

※修理費用は当初八千万円の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的な銅の価格高騰の影響により、一億円を超える見通しとなりました。

五十年を経て、劣化損傷の著しい銅板葺屋根



待遇表

特別記念品	芳名札	記念品	芳名簿永久保存	
-	-	○	○	五千円以上
-	-	○	○	一万円以上
○	○	○	○	五万円以上
○	○	○	○	十万円以上
○	○	○	○	五十万円以上
○	○	○	○	百万円以上

- ・ 五千円以上のご奉賛をお願いいたします。
- ・ 芳名はご神前に奉告申し上げます。
- ・ 芳名簿は永久保存いたします。
- ・ 五万円以上ご奉賛いただいた方のお名前を札に記入し、境内に顕彰いたします。

ご奉賛の方法について

- ・ 社頭でのご奉賛は、社務所にて毎日受付しております。
- ・ 郵送の場合は、添付の郵便振替用紙に必要事項を記入し、ご送金ください。

お問い合わせ

越中一宮 高瀬神社 社務所

〒九三二一〇二五二 富山県南砺市高瀬二九一

電話(〇七六三)八二一〇九三二 / FAX(〇七六三)八二一三二〇四